

レジ袋有料化義務化 についての解説



2020年7月1日からスタートします。

プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

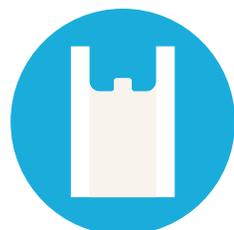
経済産業省 HP より一部引用

Q. 対象となる事業者

プラスチック製買物袋を扱う小売業※を営む全ての事業者が対象となります。主な業種が小売業ではない事業者（製造業やサービス業）であっても、事業の一部として小売業を行っている場合は有料化の対象となります。



※各種商品小売業・織物・衣服身の回り品小売業・飲食料品小売業・自動車部分品・附属品小売業、家具・じゅう器・機械文具小売業、医薬品・化粧品小売業、書籍・文房具小売業、スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業及びたばこ・喫煙具専門小売業



Q. 対象となる買物袋

有料化の対象となるのは、購入した商品を持ち運ぶために用いる、持ち手のついたプラスチック製買物袋です。



あらゆるプラスチック製買物袋を有料化することにより、過剰な使用を抑制していくことが基本です。

Q. どれくらいの価格で販売すればいいの？

お店側が自由に設定できます。

レジ袋の価格設定については店舗側に委ねられています。

すでに有料化を導入しているスーパーなどの相場は、2～5円程度が多いようです。

また、1円未満の価格設定は有料化として認められませんので1円以上で設定すること

になっています。袋の売上用途についても、お店側が判断することとなっています。



Q. 有料化しないとどうなるの？

勧告や罰則等がある可能性があります。

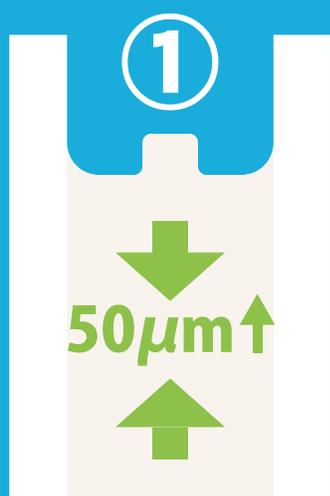
詳しくは環境省または経済産業省へお問い合わせください。

Q. 無料で配布できる袋はないのか？

①袋の厚みが0.05mm以上のもの、②植物由来のバイオマスプラスチックの配合率が25%以上のもの、③海中で完全分解される海洋生分解性のものが該当します。また、紙袋等のプラスチック以外の買い物袋に該当するものに関しては無料で配布することができます。

株式会社モロフジでは、①と②の袋の対応が可能です。③の海洋生分解性プラスチックの配合率が100%のものにつきましては、対応不可ですのでご了承ください。

(株)モロフジで対応出来る袋の種類



プラスチックのフィルムの厚さが50マイクロメートル以上のもの



バイオマス素材の配合率が25%以上のもの



海洋生分解性プラスチックの配合率が100%のもの